

款	2 総務費	項	1 総務管理費	最終予算額	決算額
		目	2 関西事務所活動運営費	13,807千円	13,234千円
担当課決算額				13,807千円	13,234千円

○人件費 9,142千円  
一般職1名

○関西事務所管理運営費 4,092千円

大阪市北区梅田の鳥取県関西本部内に「琴浦町関西事務所」を開設して職員1名を配置しました。

町内への定住促進活動、観光スポットのPR、そして販路開拓・拡大等さまざまな活動を行い、町の活性化に取り組みました。

「成果」 関西圏において、守口門真商工会議所と連携して、琴浦町アンテナショップを設置し、特産品の販売、観光スポットのPR等を行うとともに、琴浦町の説明を行った。その結果、期間限定で開設したにもかかわらず、徐々にではあったが、着実に売上げを伸ばし、お客様のリクエストに応える形で、一部商品を継続販売することとなった。

また、観光客の誘致にも繋がった。

IJUターン説明会を開催し、いなか暮らし体験なども実施して定住促進活動を行った。

「課題」 関西圏における琴浦町の知名度アップをさらに図る必要がある。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	最終予算額	決算額
		目	10 交通安全対策費	8,583千円	8,345千円
担当課決算額				8,583千円	8,345千円

○交通安全対策事業 8,345千円

交通事故ゼロを目標に、各種団体と連携し、交通安全対策の取組みを行いました。また、交通災害共済事務も行いました。

(各種団体)

- ・町交通安全指導員(23人)
- ・町交通安全母の会(9地区)
- ・町交通対策協議会
- ・町交通部長会
- ・八橋交通安全町連絡協議会
- ・八橋署管内交通安全母の会連絡協議会
- ・八橋署管内交通安全指導員連絡協議会
- ・県中央R9交通安全対策協議会

(行事・大会)

- ・年4回の交通安全運動(街頭啓発・広報等)
- ・交通安全教室実施16回)
- ・飲酒運転撲滅活動

(交通災害共済)

加入者数 13,351人(加入率 70.5%)

見舞金請求件数 43件

「成果」 警察・交通安全協会など各種団体と協力し、地域住民の安全確保を実施した。

「課題」 年々加入者減となる交通災害共済のあり方について検討する必要がある。

款	2 総務費	項	5 統計調査費	最終予算額	決算額									
		目	1 統計調査総務費	7,198千円	7,155千円									
担当課決算額				7,198千円	7,155千円									
<p>○人件費 6,446千円 一般職1名</p> <p>○統計調査事務事業 2千円</p> <p>○基幹統計調査事業 707千円 統計法に基づく指定統計調査を実施しました。 平成23年度指定統計調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年経済センサスー活動調査(基準日 2月1日)</li> <li>・平成23年度経済センサス調査区管理</li> <li>・平成23年度学校基本調査(基準日 5月1日)</li> <li>・平成23年度鳥取県人口移動調査</li> <li>・平成23年度統計調査員確保対策事業</li> </ul> <p>「成果」 初めての調査であった経済センサスのほか、各種統計調査を計画どおり実施できた。</p> <p>「課題」 統計法において、調査への報告は義務化されているものの、個人情報保護への意識の高まりから、調査拒否をなされるケースが増えてきつつある。</p>														
款	2 総務費	項	8 地域活性化・経済危機対策費	最終予算額	決算額									
		目	1 地域活性化・経済危機対策費(繰越明許)	1,769千円	1,678千円									
担当課決算額				1,769千円	1,678千円									
<p>○国道9号電柱移転事業 1,678千円 国の経済対策に対応する地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業を活用して、国道9号逢東西交差点改良工事に伴い、琴浦町が設置している照明灯2基を移設した。</p> <p>「成果」 国道9号逢東西交差点改良工事に伴い、琴浦町が設置している照明灯2基を移設することができた。</p> <p>「課題」 H23年度が補助年限であり、平成24年度以降の事業実施のあり方が課題。</p>														
款	6 商工費	項	1 商工費	最終予算額	決算額									
		目	1 商工総務費	33,735千円	33,651千円									
担当課決算額				33,735千円	33,651千円									
<p>○人件費 33,290千円 一般職5名</p> <p>○大型共同作業場管理運営 16千円 施設の維持管理(火災保険料)を行いました。 「課題」 耐用年数(補助事業)経過後には、無償譲渡を検討する必要がある。</p> <p>○人権・同和対策雇用促進協議会 135千円 人権・同和対策雇用促進協議会へ補助を行いました。 年間研修会</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>期日</th> <th>内容</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6月 23日</td> <td>理事会、総会及び研修会</td> <td>36人</td> </tr> <tr> <td>3月 1日</td> <td>研修会</td> <td>31人</td> </tr> </tbody> </table> <p>その他の事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職差別撤廃に向けた企業訪問(旭東電気、百寿苑)</li> <li>・人権啓発看板配布(6事業所)</li> </ul> <p>「成果」 年2回の研修会を通じ、労働者における人権等について学ぶことができた。</p> <p>「課題」 研修会等への参加者が固定、減少してきているため、参加の促進を図る必要がある。</p>						期日	内容	参加者	6月 23日	理事会、総会及び研修会	36人	3月 1日	研修会	31人
期日	内容	参加者												
6月 23日	理事会、総会及び研修会	36人												
3月 1日	研修会	31人												

- 消費者対策 210千円
- ・消費生活相談員養成講座受講(担当職員1名参加)
  - ・消費者月間啓発用懸垂幕作成(1枚)
  - ・消費者六法等参考図書の購入

【成果】 増加する消費者被害への防止へ向けた啓発を行いました。  
 【課題】 継続した啓発活動が必要です。  
 税務課、高齢者福祉担当等との庁舎内部での連携が必要です。

款	6 商工費	項	1 商工費	最終予算額	決 算 額
		目	2 商工振興費	51,660千円	50,259千円
担当課決算額				51,660千円	50,259千円

- 商工業の振興 27,565千円  
 商工街路灯の維持管理、商工関係団体への補助を行い、商工業の振興を図りました。

委託料	
・アンテナショップ出店調査委託料	1,000千円
補助金	
・商工会育成補助金	6,500千円
・労務改善協議会	540千円
・プレミアム付ことうら商品券発行事業補助金	2,496千円
・雇用促進奨励助成金(21事業所延べ51名分)	10,200千円
・琴浦グルメストリート補助金	1,000千円
交付金	
・企業再生事業費交付金(東伯シティ)	2,900千円

「成果」 各種事業への支援策を行うことにより、商工業の振興を促進することができた。  
 「課題」 補助金額の見直し検討及び自費運営への促進を検討する必要がある。

- 中小企業小口融資 22,687千円  
 町内の中小企業の運転、設備に要する経費に対して審査会で審査し、融資を行い経営の安定を図りました。(審査員報酬を含む) 審査会は年6回実施。

金融機関への預託による融資実行実績

種別	預託金額	件数
継続融資	13,502千円	
継続融資(同和)	2,574千円	
年度融資	5,776千円	7
計	21,852千円	

損失補償金	773千円	2
-------	-------	---

- 同和地区中小企業特別融資 7千円  
 継続して同和地区小口融資を受けており、保証料を分割して支払っている事業者に対し、保証料年額の半額を助成しました。

種別	補助金額	件数
保証料補助	7千円	1

「成果」 融資を行うことにより、経営の安定化及び設備投資を支援することができた。  
 「課題」 小口融資審査委員数(現13名)の適正化について検討する必要がある。

款	6 商工費	項	1 商工費	最終予算額	決算額
		目	3 観光費	38,665千円	38,091千円
担当課決算額				38,665千円	38,091千円

- 一般事務 8,598千円  
 観光関係のイベント、観光パンフレット印刷、観光看板の設置、観光関係団体への負担金等の補助を行い、観光の振興を図りました。また、旧中井旅館の維持管理を行いました。  
 交付団体  
 町観光協会、八橋振興会、とっとり梨の花広域観光協議会、県観光連盟、山陰観光連盟、大山遭難防止協会、大山山麓観光推進協議会、大山国立公園協会 他7団体  
  
 「成果」 各種団体へ補助等を行うことにより、各々の活動に資することができた。  
 「課題」 各種団体への補助金額の適正化について検討する必要がある。
- 船上山管理運営 2,904千円  
 船上山のさくらの里トイレ、茶園原休憩所、駐車場周辺の施設の維持管理を行いました。  
  
 「成果」 各種団体に委託することにより、各々の活動に資することができた。  
 「課題」 各種団体への委託金額の適正化について検討する必要がある。
- 道の駅ポート赤碕運営管理事業 4,002千円  
 施設の維持管理を適切に行いました。  
 23年度利用者数:約30万人(昨年度約40万人)  
  
 「成果」 施設を適切に維持管理することにより、道の駅利用者への利便を図ることができた。  
 「課題」 東伯中山道路の開通に伴い、入込客が減少しているため誘客の促進が求められる。
- 白鳳祭 4,000千円  
 第21回白鳳祭を開催するにあたり、白鳳祭実行委員会へ補助を行いました。  
 開催日:平成23年8月7日 場所:東伯総合公園 参集人数:約3,000人  
  
 「成果」 地域の芸能・文化を再認識する場を設け、地域への誇りを持つための機会をつくった。  
 「課題」 住民参加型・協働による運営方法を検討する必要がある。
- 船上山さくら祭り運営事業 1,800千円  
 第20回船上山さくら祭りを開催するにあたり、さくら祭り実行委員会へ補助を行いました。  
 開催日:平成23年4月24日 場所:船上山万本桜公園 参集人数:約3,000人  
  
 「成果」 県内外より多くのお客様に会場にいらしていただくことで、文化・経済・観光の振興が図れた。  
 「課題」 自主財源確保を検討する必要がある。
- 一向平森林体験交流センター管理事業 1,888千円  
 施設の管理と環境美化に努め、周辺自然環境を保全し、センター利用者、大山滝や中国自然遊歩道来訪者の利便を図りました。  
  
 「成果」 一向平森林保全協会に委託することにより、各々の活動に資することができた。  
 「課題」 一向平森林保全協会への委託金額の適正化について検討する必要がある。
- 駅前自転車置場管理運営事業 118千円  
 駐輪場の一般管理を行いました。  
 「成果」 駐輪場の管理の充実を図った。  
 「課題」 違法駐輪等の監視体制の構築。

- 一向平キャンプ場の管理と清掃活動事業 3,539千円  
 施設の管理と環境美化に努め、周辺自然環境を保全し、キャンプ場利用者、大山滝や中国自然遊歩道来訪者の利便を図りました。  
 ・来訪者 10,905人  
 ・キャンプ場利用者 960人

「成果」 一向平森林保全協会に委託することにより、各々の活動に資することができた。  
 「課題」 一向平森林保全協会への委託金額の適正化について検討する必要がある。

- 大山滝祭事業 21千円  
 一向平山開きを実施して観光の振興を図りました。

「成果」 一向平の観光に資することができた。  
 「課題」 継続事業

- 琴浦パーキング活性化施設管理運営 11,221千円  
 琴浦PAに「物産館ことうら」をオープンし、施設の維持管理を適切に行いました。  
 23年度利用者数:約11万8千人(10月～3月)

「成果」 各出店者や国交省と連携を図り、10月に無事オープンさせることができた。  
 「課題」 冬に向けて売上が減少しているため、前広場を活用した誘客の促進が求められる。

款	6 商工費	項	1 商工費	最終予算額	決算額
		目	5 地域振興費	78,705千円	78,327千円
担当課決算額				78,705千円	78,327千円

- 地域活性化基金事業 48千円  
 地域活性化基金の利子を基金に積み立てました。

- きらりタウン定住促進事業 906千円  
 環境共生モデル住宅団地「きらりタウン赤碕」の販売を促進し、住民の定住化により地域振興を図りました。  
 ・きらりタウン赤碕定住促進謝礼金 900千円(100千円×9件)

「成果」 13件(内、町内9件、県内4件)の入居があった。(予算は、建設課)  
 「課題」 継続したPRが必要である。

- 日韓友好交流公園管理運営事業 6,160千円  
 日韓友好を推進するため国際交流の象徴ならびに観光資源として有効活用するために施設の管理運営を行いました。  
 また、日韓友好交流公園「風の丘」及び日韓友好資料館・物産館が、平成23年4月1日に「恋人の聖地」に認定され、新たな来館・来園者の獲得に向け取組を進めています。  
 平成23年度入館者数:21,407人

「成果」 日韓文化交流促進ウィーク期間中に「恋人の聖地オープニングイベント」を開催し、約130名の参加があった。  
 「課題」 継続した取組が必要である。  
 また、資料館内の展示物の入替をし、資料の充実を図らなければならない。

## ○国際交流の推進 1,620千円

日韓交流を軸に国際交流の推進を図りました。  
・韓国旅行支援事業補助金(8団体 1,205千円)

「成果」 交流先である麟蹄郡及び蔚珍郡への民間訪問の促進を図った。

「課題」 現在の文化交流をどう発展させるか検討が必要である。  
行政主体の交流から民間主体の交流へシフト。

## ○国際交流員設置事業 4,878千円

韓国からの国際交流員を1名設置し、交流事業、学校や地域住民への語学指導等を実施するなど、国際交流の推進を図りました。

「成果」 韓国語講座や学校等の訪問により、住民の国際理解を深めた。

「課題」 これまで実施した事業の他、経済交流やインバウンド対応等幅広い活動が望まれる。

## ○交流ネットワーク事業 768千円

農水産物等の地元特産品を詰めあわせた、ふるさと宅急便を企画し、県内外にPR・販売し地元産品の販売促進を図りました。

・「ことうら三昧ふるさと便」 販売個数618個

「成果」 本町特産品を県外に送り出すことで、知名度向上に貢献した。

「課題」 新規購入者の開拓を目指さなければならない。

琴浦会会員相互の親睦及び情報交換を図り、併せて本町の発展・活性化に寄与することを目的に活動を行いました。

・琴浦会会員数 126人(東日本地区50人 西日本地区76人)

「成果」 会員へ町報や事務局だよりを毎月送付し、ふるさとの情報を提供した。

「課題」 会員が年々減少しており、会員のメリットを検討しなければならない。  
会員へは、町のアドバイザーとして活動を期待する。

## ○移住定住促進事業 4,215千円

琴浦町へのIJUターン者に対し、所要の助成措置を講ずることにより、町外からの移住による人口の増加と定住の促進を図りました。また、地域の活性化及び空き家の増加に伴う過疎化、環境の悪化等を防止する目的で、IJUターン希望者へ提供する空き家の登録を推進しました。また、お試し住宅の整備を平成23年と24年の2ヵ年で行います。

・移住定住奨励金 1,890千円(県外からの移住実績2件、町外(県内)からの移住実績1件)  
・IJUターン相談会の開催(7月9日・9月4日・10月23日・2月19日(大阪))  
・とっとり田舎暮らし体験ツアー開催(8月20～21日 倉吉市と共同開催)  
・コトウラ暮らしお試し滞在住宅設計委託業務

「成果」 岡山県、群馬県からそれぞれ1件、空き家を利用して移住された。

「課題」 県外でのIJUターン相談会に積極的に参加し、継続したPRが必要である。  
IJUターン希望者の多くが就農を希望されており、支援策を検討する必要がある。

## ○八橋ふれあいセンター管理事業 767千円

施設を維持管理し地域住民の交流の場として活用し、地域の活性化を推進しました。

「成果」 八橋振興会へ指定管理し、施設の維持管理に資することができた。

「課題」 八橋振興会への委託金額の適正化について検討する必要がある。

○三本杉ふるさと分校管理事業 67千円  
 施設を維持管理し地域住民の交流の場として活用、活性化を推進しました。  
 「成果」 三本杉ふるさと分校管理委員会指定管理し、施設の維持管理に資することができた。  
 「課題」 三本杉ふるさと分校管理委員会へ施設備品等の費用も出費いただくことの検討。

○バス交通対策事業 54,199千円  
 町内統一100円運賃バス路線の運行と広域バス路線の維持により生活路線の維持確保等を行いました。  
 ・バス交通対策補助(日ノ丸自動車) 8,543千円  
 (倉吉～赤碕広域路線)  
 ・町営バス運行委託料(日ノ丸自動車) 44,683千円  
 「成果」 町内バス路線の運行と広域バス路線の維持により生活路線の維持確保を実施した。  
 「課題」 町営バス路線を含む適正な新交通体系の検討。

○コミュニティ助成事業 4,700千円  
 (財)自治総合センターが実施する地域活動団体への助成事業によりコミュニティ(部落などの地区住民組織)の醸成を図るため各部落の区長及び各所属長からコミュニティ助成事業の要望をとりまとめ、下記の事業を実施しました。

申請団体	事業	金額	区分
山川木地	除雪機導入	2,300,000円	一般コミュニティ
大父木地	除雪機導入	2,400,000円	一般コミュニティ

「成果」 生活道路の確保、独居世帯の孤立回避及び高齢者による雪かきの肉体的苦痛の緩和が図られた。

款	6 商工費	項	1 商工費	最終予算額	決算額
		目	6 緊急雇用創出事業費	59,967千円	58,678千円
担当課決算額				20,525千円	20,510千円

○緊急雇用創出事業 20,510千円  
 厳しい雇用失業情勢にかんがみ創設された鳥取県緊急創出事業臨時特例基金を活用して、離職を余儀なくされた非正規労働者、中高年齢者、未就職卒業者等の失業者に対して次の雇用まで短期の雇用・就業機会の創出を図りました。

(委託事業)

- ・観光資源整備事業(船上山) 新規雇用 2人
- ・観光資源整備事業(万本桜公園整備) 新規雇用 3人
- ・公共施設整備事業(学校、保育園等) 新規雇用46人
- ・地域経済活動再生事業(グルメストーリープロジェクト) 新規雇用 2人

(直営事業)

- ・農・建設施設等環境整備事業 新規雇用17人 6ヶ月更新延べ人数
  - ・イベント支援事業 新規雇用 2人
  - ・賦課徴収事務 新規雇用 2人
  - ・環境整備事業 新規雇用 4人
  - ・保育支援事業 新規雇用 2人
  - ・健康づくり活動振興事業 新規雇用 3人
- 計 83人 事業全体人数

「成果」 国庫支出による県補助事業により、町としての雇用事業が展開でき、延べ83人の雇用が確保できた。草刈作業を中心として環境整備が図られた。

「課題」 H25年度が補助年限であり、平成26年度以降の事業実施のあり方が課題。

款	6 商工費	項	1 商工費	最終予算額	決算額
		目	7 ふるさと雇用創出事業費	41,569千円	41,568千円
担当課決算額				36,569千円	36,568千円

○ふるさと雇用創出事業 36,568千円

厳しい雇用失業情勢にかんがみ創設された鳥取県雇用再生特別基金を活用して、地域の雇用再生のために、地域求職者等を雇い入れて行う雇用機会を創出する事業を実施し、継続的な雇用機会の創出を図りました。

- ・琴浦地域ブランド商品の開発、  
販路拡大事業 新規雇用 6人
- ・旅行商品販路開拓事業 新規雇用 1人
- ・地上デジタル放送相談窓口事業 新規雇用 1人
- ・観光振興事業 新規雇用 2人
- ・障がい者相談支援事業 新規雇用 1人

計 11人

「成果」 大山乳業を始め、町内ブランド商品の開発・販路開拓事業の推進が図れた。

旅行商品の開発は難題であるが、琴浦町観光知名度アップに貢献した。

「課題」 緊急雇用事業同様に、H25年度が補助年限であり、それ以降の雇用継続とあわせ活動の縮小が懸念される。